

くに ざかい 国境を越えた 益田家

近世、須佐を中心とする萩市東部地域を知行地とした益田家。石見から多くの家臣や宝物とともにやってきました。益田家にもたらしたもの・ことについて、ゆかりの工芸品・美術品・古文書から紐解いてゆきます。

益田家十一代の兼見が、萬福寺を創建したのちに所持したと伝えられている宝物



伝益田兼見所持
一節切・笛(当館蔵)



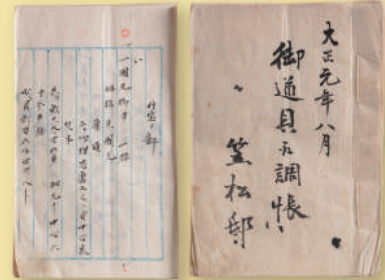
国光御刀箱(左)
大坊太刀箱(右)
(当館蔵)

いずれも益田家が所有した名刀で
現在は京都国立博物館所蔵(重要文化財)
当館には箱のみ残る。



伝益田兼見所持
数珠(当館蔵)

益田家に伝来する
什宝・諸道具の
書き上げ



大正元年
御道具取調帳
(当館蔵)

令和7年 4月26日(土) >>> 6月16日(土) 3館 同時開催

益田家に伝来した美術工芸品は多岐にわたり、重要文化財に指定されているものもあります。この伝来品を調査するために、島根・東京・京都・萩の研究者によって実施された共同研究の成果をご覧ください。

中世益田の至宝展
益田市立
歴史文化交流館

石見の祈りと美
島根県立石見美術館
(「グラントワ」内)

国境を越えた益田家
萩市立須佐歴史民俗資料館
「みこと館」

■ シンポジウム 1

「近世益田家と須佐の歴史文化 ―萩藩石見境の実相―」

日時：令和7年5月11日(日) 13:30～15:30
会場：萩市須佐文化センター
主催：萩市

申込
不要

参加
無料

先着
300名

国境を越えた益田家は、近世約260年の間、知行地となった須佐を中心とする萩市東部地域とどのようにかかわったのであろうか。中世からの継続と変化を踏まえ、多角的な視点で検証する。

● 登壇者(予定)

小山弓弦 葉 (東京国立博物館 学芸研究部調査研究課長)
重田麻紀 (須佐歴史民俗資料館 特別学芸員)
角野広海 (島根県立石見美術館 主任学芸員)
中司健一 (益田市歴史文化研究センター 主任)
西田友広 (東京大学史料編纂所 中世史料部門准教授)
森道彦 (京都国立博物館 学芸部主任研究員)
【コーディネーター】大槻洋二 (萩博物館 館長)



■ 同時開催企画展 1

「石見の祈りと美 ―未来へつなぐ中世の宝―」

会期：令和7年4月26日(土)～6月16日(月)
会場：島根県立石見美術館(島根県芸術文化センター「グラントワ」内)
休館日：毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
主催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

■ 同時開催企画展 2

「中世益田の至宝展 ―古文書・出土品―」

会期：令和7年4月26日(土)～6月16日(月)
休館日：毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
会場：益田市立歴史文化交流館
主催：益田市教育委員会

■ シンポジウム 2

「益田家の至宝とその伝来」

日時：令和7年5月10日(土) 13:00～16:00
会場：島根県芸術文化センター「グラントワ」小ホール
主催：益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会

申込
不要

参加
無料

先着
400名

関連イベント

● わくわくフェスタ!

下記の期間中に萩市立須佐歴史民俗資料館「みこと館」へ入館いただいた方に、わくわくフェスタ抽選券をプレゼント。JR須佐駅前広場で行われる抽選会で特産品などが当たります。
日時：令和7年5月3日(土)～5月4日(日) 10:00～15:00
会場：JR須佐駅前広場ほか

イベント
情報は
こちら



● まわって集めよう! 益田氏の武将カード

益田氏の武将のカードを下記の場所をめぐって6枚そろえよう!

期間：令和7年4月26日(土)～6月16日(月)※休館日あり
場所：① 島根県立石見美術館、② 萬福寺、③ 医光寺、
④ 益田市立歴史文化交流館「れぎしーな」、
⑤ 萩市立須佐歴史民俗資料館「みこと館」、⑥ 大湊寺

入館者・
拝観者に
差し上げます

イベント
情報は
こちら

